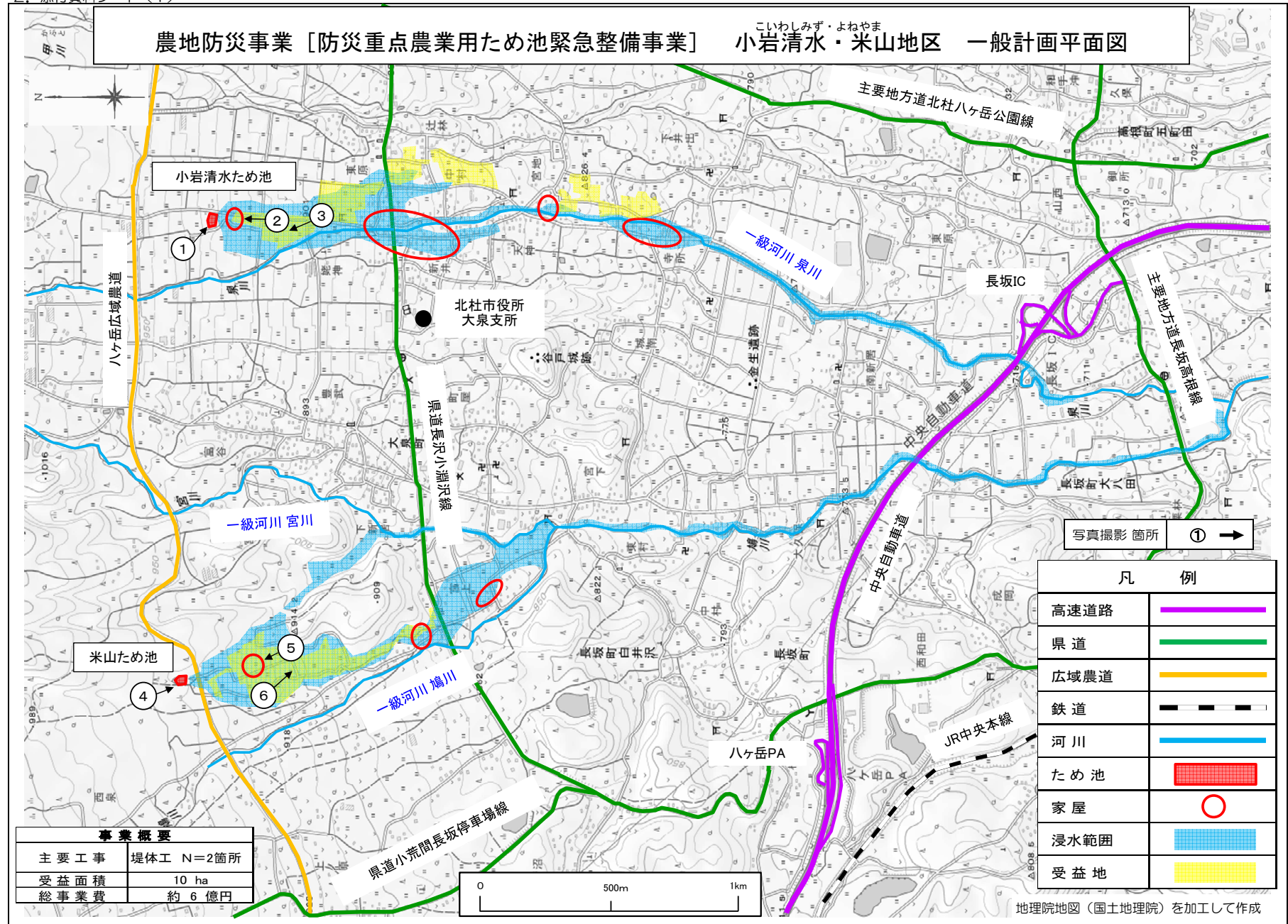


1. 事業説明シート

事業名	農地防災事業 [防災重点農業用ため池緊急整備事業（国補）]	事業箇所	北杜市大泉町西井出、谷戸	地区名	こいwashimizu・よねやま 小岩清水・米山	事業主体		山梨県
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価				
①課題・背景				①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）				
本ため池は北杜市大泉町に位置し、稲作が盛んな本地域の水田用水を確保するための重要な農業用施設である。 一方で、本ため池は築造から70年以上が経過しており、機能診断の結果、堤体が地震発生時における所定の基準を満たしていないことや、堤体の余裕高や豪雨時の洪水吐の流出能力が不足していることが判明した。 ため池の下流域には人家等があり、大規模な地震または豪雨により決壊した場合、甚大な被害を及ぼすおそれがあるため、早期に防災工事を実施し、住環境の安全、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るものである。				・本地区の整備は、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に位置づけられている国民の生命及び財産を保護するため、防災工事等の集中的かつ計画的な推進に資するものであり、行政が行うべきである。				
②整備目標・効果				②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）				
□主要目標 ○洪水被害危険度の軽減				・土地改良法施行令第50条第1項1の3により県が事業主体となって行うべきものである。				
○ため池決壊の構造的危険度 74点≧67点※								
○ため池決壊に伴う下流域への影響度 39点≧9点※								
□副次目標 ○農業用排水能力の向上				③経済妥当性				
○施設老朽度（使用年数81年）÷（耐用年数40年）				○				
=2.03≧1.00※								
○用排水能力向上率								
（計画排水能力0.85m3/s）÷（現況排水能力0.38m3/s）								
=2.24≧1.0※								
（※評価基準値）								
□副次効果 ○農地の保全（農地の埋没の恐れあり）								
○既存施設の崩壊危険性の排除（主体構造物である）								
(2) 整備内容				総事業費 600 百万円 工期 R7 ～ R11 基準年 R6				
①整備内容 堤体工 N＝2箇所				費用 446 百万円 便益 743 百万円				
②着手年度 令和7年度				事業費用 445 百万円				
③完成見込年度 令和11年度				その他費用 1 百万円				
④総事業費 約600百万円				災害防止効果 748 百万円				
(国費330百万円(5.5/10) 県費204百万円(3.4/10) 市費66百万円(1.1/10))				維持管理費節減効果 -5 百万円				
⑤年度別の整備内容 (事業費)				経済効率性				
令和7年度 測量・地質調査・設計 60 百万円				B/C 1.7				
令和8年度 堤体工 100 百万円								
令和9年度 堤体工 200 百万円								
令和10年度 堤体工 200 百万円								
令和11年度 付帯工 40 百万円								
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている。				
⑥既整備内容・期間・事業費				④事業実施・規模の妥当性				
・該当なし				○				
				⑤整備手法の有効性				
				○				
				⑥環境負荷等への配慮				
				○				
				⑦事業計画の熟度				
				○				
				総合評価				
				[貢献度ランク：a]				
				(4) 事業位置図等				

2. 添付資料シート（1）



2. 添付資料シート（2）



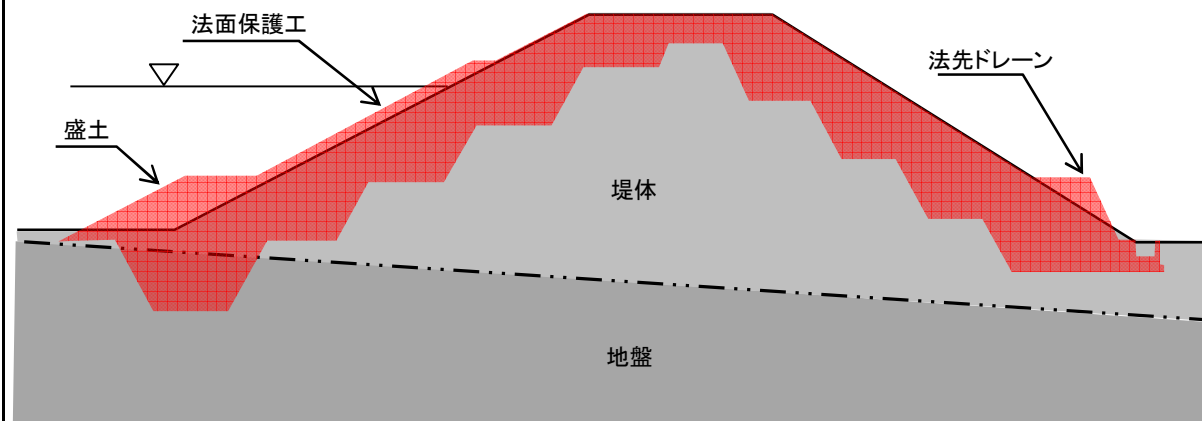
① 小岩清水ため池 全景
貯水量 5,000m³、堤高 H=4.4m



②ため池下流には人家があり、大規模地震の際には甚大な被害のおそれがあるため、早急に対策を講じる必要がある。



③ため池下流の受益農地の状況



耐震対策

盛土（堤体の補強）
→堤体の安定性確保

豪雨対策

洪水吐の改修
→豪雨時の
安全性向上

ため池の健全な機能の発揮

2. 添付資料シート（2）



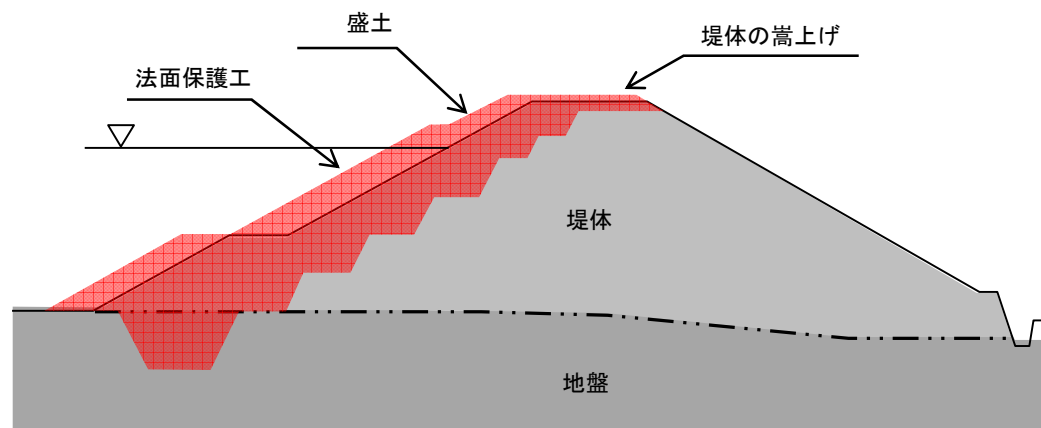
④ 米山ため池 全景
貯水量 15,000m³、堤高 H=5.6m



⑤ ため池下流には人家があり、大規模地震の際には甚大な被害のおそれがあるため、早急に対策を講じる必要がある。



⑥ ため池下流の受益農地の状況



耐震対策

盛土（堤体の補強）
→ 堤体の安定性確保

豪雨対策

堤体の嵩上げ
洪水吐の改修
→ 豪雨時の
安全性向上

ため池の健全な機能の発揮